

# ニュース検定に挑戦

今回は準2級

## 問題

米大統領選について、正しい記述を①～④から一つ選びなさい。

- ① 大統領選の投票日（11月の第1月曜日の翌日）は、超大国のトップを決める日となるため「スーパーチューズデー」と呼ばれる。
- ② 大統領選挙は、有権者が大統領選挙人を選出し、大統領選挙人が大統領を選出する仕組みだ。
- ③ 大統領の3選を禁じる合衆国憲法の規定は、18世紀の制定当初からある。
- ④ トランプ大統領は、無党派層の票を広く獲得するため、有権者が郵送された投票用紙で投票する「郵便投票」の導入を推進している。

## くわしく解説

11月の米大統領選が近づいてきました。共和党のドナルド・トランプ大統領が再選を果たすのか、民主党のジョー・バイデン前副大統領が4年ぶりに政権を奪還するのか、世界が注目しています。

米大統領選挙は4年ごと、夏のオリンピックが開かれる予定の年にあります。任期は1期4年。再選は1回だけで、2期8年までです。こうした3選禁止の規定は1787年の合衆国憲法制定

時にはなく、1951年に定められました（③）。過去には、フランクリン・ルーズベルト氏（民主）が33年から45年まで12年、務めた例があります。

投票は11月第1月曜の翌日と決まっており、今年は3日。州ごとに、特定候補への支持を表明してい

る「大統領選挙人」を選ぶ間接選挙です（②）。ほとんどの州では、最多票を得た候補が、その州に割り当てられた選挙人全員を独占する「勝者総取り」制度を取り、選挙人総数538人の過半数を得た候補が大統領になります。

なお「スーパーチューズデー」（決戦の火曜日）は、共和、民主両党の候補指名争いで、予備選・党員集会が多数の州で集中的に実施される日のことです。11月の本選のことではありません（①）。

今回の大統領選では、有権者が投票用紙を郵送して1票を投じる「郵便投票」も注目を集めています。新型コロナウイルスの感染防止のため、多くの州政府が導入する予定で、投票率が上昇する可能性もあります。投票率アップが自身への批判票につながると思うトランプ氏は「選挙の正当性を担保できない」などと、郵便投票の導入に反対しています（④）。

## 答え

② 特定の立候補者を支持する「選挙人」を最も多く集めた人が当選します。①共和、民主両党の候補指名争いで、予備選・党員集会が多数の州で集中的に実施される日のことです。③1951年に定められました。④トランプ氏はなりすましなどの不正が横行するなどとして、郵便投票の導入に反対しています。

「ニュース時事能力検定試験」(NPO日本ニュース時事能力検定協会、毎日新聞社など主催)は、新聞やテレビのニュース報道を読み解き、活用する力(時事力)を養い、認定する検定です。詳細は公式サイト(<https://www.newskentei.jp/>)をご覧ください。

ニュース  
時事能力  
検定試験

N検 NEWS